

科目名	デッサン2			
授業形態	演習	学年	2	
開講時期	2021年度 後期	単位数	2	
担当教員	渡邊 晃一			
内容および計画	「デッサン1」で習得した基礎的技法をもとに、厳密な対象の観察による確かな表現へと展開させる。「デッサン、スケッチ、ドローイング」に関わるI（ものの見方）、M（描画材料の特性）、T（三つの術・空間表現）の重要な知識や技能を通して、造形美術の幅広さ、奥深さを学修する。			
1	オリエンテーション「デッサン」とは何か／絵画と言葉			
2	「素描」の造形要素／眼と手			
3	「素描」の材料（描くことをいかにして学ぶか）／視覚と身体			
4	「デッサン1」記憶された姿（すがた）形（かたち）／似顔絵と肖像画			
5	「デッサン2」プロポーション／漫画と絵画			
6	「デッサン3」輪郭線／肌膚（東洋）と鏡（西洋）			
7	「デッサン4」明暗／質感と量塊			
8	「デッサン5」マティエール／艶と奥行き			
9	「デッサン6」色／重い「光」と「肌」色			
10	講評会			
11	「生命形態を描く1」・・・構造と機能			
12	「生命形態を描く2」・・・動き			
13	「生命形態を描く3」・・・らせんと根源形象			
14	「生命形態を描く4」・・・人と作品を結ぶ			
15	講評会			
教科書				
	タイトル	著者名	出版社	発行年
	「モナ・リザの教科書」	渡邊晃一	日本文教出版株式会社	978-4-536-60065-1 2021
参考書	「絵画の教科書」谷川渥監修、小澤基弘、渡邊晃一編著、日本文教出版株式会社、2001年			
成績評価				
	評価方法			割合(%)
	1、毎回の授業成果からの総合的評価：成果点3点満点×15回＝45			45
	2、授業内課題（提出作品）の成果点20点満点×2回＝40			40
	3、授業外課題（制作ノート）5点満点×3回＝15			15
上記の総合点を下記の評価基準に基づき、評価する。				
学習到達目標	知的関心をもって、意欲的に取り組み、自らの発想の能力を高め、計画的に創意工夫できる。			
先修条件	デッサン1			
実務経験	実務経験あり：1995年より福島大学（絵画研究室）に勤務し、「素描」「絵画」の講義を担当。国内外での展			

	覧会、舞台芸術等の実績多数。絵画の基礎から応用まで幅広い指導を行なっている。
その他	鉛筆（2 H～4 B）・消し具（練り消しゴム）等の描画材料を必要とする。その他、授業内で指示。